



北海道富良野高等学校 令和8年度 学校経営シラバス

校訓 「たくましく しなやかに」

学校教育目標「未来社会を生き抜く自立した人間の育成」

目指す生徒像「礼儀と規律を重んじ、心豊かでたくましく、変化にしなやかに対応できる生徒」

1 スクール・ミッション

- (1) 地学協働を通じて社会課題に向き合い、臨機応変に対応し、解決するための資質、能力を高め、将来、持続可能な社会の創り手として地域創生に寄与できる生徒の育成
- (2) 個々の生徒の特性に応じた教育活動全般を通じて、自己実現のために主体的に努力し、将来、社会の中で自分らしく生きると共に、他者を理解し、協働できる生徒の育成

2 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

【生きる力の育成】

- (1) 考える力 社会に必要な知識、技能をもとに思考を深め、課題解決に向かう力
- (2) 行動する力 強くしなやかな心と身体を持ち、正しい根拠で自ら判断し、行動に結びつける力
- (3) 表現する力 身に付けた知識、技能に創意工夫を加えて自らの考えを表し、他者と対話する力

【豊かな人間性の育成】

- (1) 自律する力 ルールやマナーを重んじ、自己を理解し、管理しながら社会生活に適応する力
- (2) 挑戦する力 達成感を積み重ねて自己肯定感を高め、新たなことに積極的に取り組む力
- (3) つながる力 他者を理解し思いやりや共感をもって共生社会の形成に参画する力

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 知・徳・体の調和を重視し、学習活動、特別活動、部活動等を通して主体的に学びに向かう態度を涵養する
- (2) 生徒の学習状況に応じ、補充的学習や発展的学習を設定する「指導の個別化」を重視し、学力の定着を図る
- (3) 生徒の興味・関心や進路希望等に応じる「学習の個性化」を重視し、自己表現の達成のための力を育成する
- (4) 探究活動を中心に、地域の教育資源の活用を重視した「協働的な学習」を展開することで他者との学び合いを深めると共に、情報活用能力や課題発見、解決能力を育成する

○入学者の受入れに関する方針

- (1) 本校が育成を目指す資質・能力を理解し、自らを高めるために努力する生徒
- (2) 学ぶ意欲を持ち、試行錯誤しながら諦めずに取り組む生徒
- (3) 地域活動、部活動、生徒会活動、資格取得に意欲的に取り組む生徒

3 教育活動

重点目標	(1) 基礎学力の定着とともに、進路意識の高揚を図り、自ら進んで進路活動につなげる姿勢と具体的な行動力を育成する教育活動を実践する。 (2) 校内外の教育環境を最大限に活用し、体験活動や探究的な学びの場を創出するとともに、協働的な学びをとおして、他者をおもんばかる思考や思いやりの心を育む。
学習指導	(1) 生徒の能力・適性・進路希望等に応じた教育課程を編成し、生徒へのガイダンス（事前指導）やカウンセリング（個別面談）を充実させ、教育課程の適切な運用を図る。 (2) 授業の工夫・改善（ICTの活用を含む）に努め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、着実に学力を伸長させ、学びに向かう態度を育む。 (3) 適切な時間割の編成・運用（実施授業時数の調整等）を行うとともに、必要な生徒へのオンライン授業や通信課題を提供するなど、生徒の学習機会の確保に努める。
生徒指導	(1) 「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全安心な風土の醸成」の4つの視点に立った生徒支援を行う。 (2) 全教職員による共通理解・共通実践による開発的・予防的な生徒指導を推進する。 (3) 問題行動等に対して組織的に対応することとし、迅速かつ適切に対処する。 (4) 生徒の自主的・自発的な生徒会や部局活動を奨励し、人間的成長を促す。
進路指導	(1) 生徒の進路希望を正確に把握するとともに、必要な情報の収集・提供に努め、一人一人の進路実現に向けて計画的かつ効率的なサポートを行う。 (2) 生徒の自己肯定感を高め、進路活動に意欲的に取り組む進路指導を行う。 (3) 面談の充実を図り、卒業後のミスマッチを防ぐ進路指導を進める。
健康・安全指導	(1) 生徒自ら健康で安全な生活を営む態度の育成に努める。 (2) 疾病予防・事故防止のための保健教育や保健管理の充実を努める。 (3) スクールカウンセラーと連携して教育相談の充実を図り、生徒の心の悩みをいち早く把握し、家庭や病院等の関係機関と協力して適切な支援を行う。

4 学校経営

領 域	達成目標（中期目標）	方 策
(1) 地域に信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特色ある学校づくり ○ 保護者・地域からの信頼度の向上 ○ 基礎学力の向上 ○ 豊かな人間性の育成 （自己肯定感の涵養） ○ 地域の小・中学校との連携の強化 ○ 危機管理体制の構築 ○ いじめの未然防止及び早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校の目指すべき未来像の検討 <input type="checkbox"/> 学校のキャッチフレーズの提案 <input type="checkbox"/> 学校HP等の充実及び地域への情報提供の強化 <input type="checkbox"/> 教育活動の「見える化」 <input type="checkbox"/> 地域・社会活動への参加及び招聘 <input type="checkbox"/> 個別最適な学び・協働的な学びの推進 <input type="checkbox"/> ICTを活用した学習 <input type="checkbox"/> 指導と評価の一体化の工夫・改善 <input type="checkbox"/> 定期考査停止に係る評価と周知 <input type="checkbox"/> 体験的学習及び探究的学びの授業化 （成功体験・協働経験） <input type="checkbox"/> 若年者との交流機会 <input type="checkbox"/> 異校種間交流の実施 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した実践的な避難訓練の企画・実施 <input type="checkbox"/> 熱中症予防体制の構築（WBGT活用） <input type="checkbox"/> いじめ防止基本方針の周知徹底 <input type="checkbox"/> 生徒の意識変容に向けた啓発活動
(2) 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地学協働体制の強化 ○ 学校運営協議会の活性化 ○ 管理職と教職員の学校経営観の共有 ○ 教職員集団の機動性強化 ○ 教職員の資質能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大学との包括連携協定の活用 <input type="checkbox"/> 「高校魅力創出委員会」の設置 <input type="checkbox"/> 学校運営協議基本方針の一部改訂 （業務量管理・健康確保措置等） <input type="checkbox"/> 各種アンケート等の実施・分析による評価と改善体制の確立 <input type="checkbox"/> 学校評価改善会議の開催（半期） <input type="checkbox"/> 恒常的な改善サイクルの機動化 <input type="checkbox"/> 研修機能の充実（研修計画の策定） <input type="checkbox"/> 教職員のICT活用能力向上 （生成AI含む）
(3) 働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員のウェルビーイングの確保 ○ 勤務時間の縮減体制づくり ○ 業務体制の改善 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生徒に向き合う時間・意識の保持 <input type="checkbox"/> 学校運営協議基本方針の一部改訂 （業務量管理・健康確保措置等） <input type="checkbox"/> 休日の部活動等指導に係る勤務振替 <input type="checkbox"/> 教職員間の連絡・情報共有体制の効率化（ICT活用） <input type="checkbox"/> 協働体制・グループ化による業務の負担軽減 <input type="checkbox"/> 固定化した業務手順の見直し
(4) 服務規律	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育公務員としての自覚と責任意識の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 信用失墜行為の撲滅 <input type="checkbox"/> 「すべては自分事」の意識啓発